

うえだ 環境市民会議 News

第 59 号

ニュース

うえだ環境市民会議の活動には、誰でも、どのプロジェクトチームにも参加できます。参加ご希望の方は、生活環境課までご連絡ください。豊かな環境を未来に残すために、一緒に活動しましょう。

この情報誌は自治センター、公民館、図書館、情報ライブラリー、市生活環境課の窓口で配布しております。

発行：うえだ環境市民会議

〒386-8601 上田市大手一丁目11-16

上田市生活環境課内

電話：0268-23-5120

FAX：0268-22-4127

E-mail seikan@city.ueda.nagano.jp

環境をよくしたいひと大集合

うえだ環境市民会議 議長 竹内 秀夫

昨年（2022年）の12月17日に、上田中央公民館の3階大会議室において「環境をよくしたいひと大集合」を開催し、約50名の方々にご参加頂きました。どうもありがとうございました。

「環境をよくしたいひと大集合」は、地域で活動する環境団体の横のつながりをつくろうと、2013年から毎年実施（2020年は新型コロナ

ウイルスの拡大で中止）しており、今回は長野大学の久保木ゼミと市川ゼミの学生に加え、上田市立南小学校6年3組（担任 若山先生）の児童が、4年生の時から3年間取り組んできたSDGsの多岐に渡る活動を発表してくれました。若い人たちから活力を貰うと同時に、頼もしさを感じました。若い人たちと一緒に、環境活動に取り組む日を夢見しています。



▲上田市立南小学校6年3組

「ゼロカーボンに向けて、私たちにできること」の講演会に参加して

うえだ環境市民会議 会員 安井 啓子

元長野県副知事で現在、上田市ゼロカーボン推進アドバイザーの中島恵理さんの講演会が、今年（2023 年）の 2 月 11 日に西部公民館大ホールでありました。

初めに上田市の過去 30 年間の気温や降水量の変化、長野県内での温暖化による影響について各種データをもとに話を始められ、地球温暖化をこのまま放置すると、地球全体が今後どうなるのかの予測も説明されました。まさに、気候変動から気候危機の時代に突入しているようです。

人間活動によって引き起こされている地球温暖化を 1.5℃に抑えるには、2030 年までに CO₂ の排出量を 2010 年水準より 45%減少させ、2050 年までに正味ゼロにする必要があります。

長野県は 2030 年までに CO₂ 排出量 60%削減と再生可能エネルギー 2 倍増、最終エネルギー消費量 40%減の意欲的な目標を掲げています。上田市でも 2027 年までに 24.7%減、2030 年までに 30%削減を、2050 年にはカーボンニュートラルを目指しています。

具体的に 1.5℃のライフスタイルの提案として、どんな家に住むか？どのようなエネルギーを使うのか？どんな家電や照明を使うか？など、私たちの選択によって世界を変えることの可能性について、県や上田市の補助制度の紹介もありました。

最後に、ご自身の八ヶ岳山麓での自給自足型のエコライフ実践も紹介されました。チャレンジすることの心地よさを感じさせられる講演でした。



▲講演会「ゼロカーボンに向けて、私たちにできること」の様子



▲講師の中島恵理氏

補足① ゼロカーボンに向けて、上田市では「上田市地球温暖化対策地域推進計画」を改定中です。その中の（案）として「2030 年度までに 2013 年度比で 57%（長野県の 2010 年度比で 60%と同じ）削減すること」が記され、県と足並みを揃えています。

補足② ゼロカーボンに向けて家庭で取り組む際、現在どのくらい削減できているか「見える化」できると目標が立てやすいと思います。長野県のホームページで「めざせ！長野ゼロカーボンライフ」と検索して、当てはまるものにチェックを入れると達成率が示されますので、ぜひお試しください。